

科目名	行動科学各論
科目名(英語)	Behavioral Science (Special Lecture)
曜日・講時	後期 木曜日 3講時 133講義室
単位数	2
担当教員	瀧川 裕貴
セメスター	6
科目ナンバリング	LHM-OSO301J
使用言語	日本語

授業題目	ネットワークと社会関係の社会学
授業題目(英語)	Sociology of social networks and relations
授業の目的と概要	社会現象を社会的ネットワークと社会関係の観点から理解し、分析するための基本的考えと方法を学習する。この授業の特徴は2つある。1つは、社会運動や組織、公共圏、文化等、様々な社会現象を、ネットワークと社会関係という基本的視角から考察し、分析することを試みるという点である。本講義では、もちろん、分析手法としての「社会ネットワーク分析」の成果に多く依拠するが、技術的な点よりもその基本的アイデアや物の見方を学ぶことを重視する。第2に、伝統的な質問紙によるサーベイ調査だけでなく、ウェブデータ、デジタルデータ、実験データなど様々な新たなデータを用いた研究成果を積極的に紹介する。社会現象をネットワークの観点から分析するアプローチはこうした新たなデータによって可能になった側面も大きい。この講義を通じて、社会現象を社会ネットワーク、社会関係の観点から捉えることの面白さを感じ取ってもらいたい。
学習の到達目標	社会現象をネットワークと社会関係の観点から読み解くための基本的考え方を習得する。 社会ネットワーク分析や計算社会科学の初歩的な方法論に親しみ、関連する研究を理解できるようにする。
授業内容・目的・方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. ネットワークと社会関係の社会学のイントロダクション。 2. ホールソーシャルネットワークを理解する。スモールワールドと6次の隔たり。 3. 二者間関係の分析1 関係はどうやってつづられるか、ホモフィリー。 4. 二者間関係の分析2 友人、上下関係や恋愛関係を分析する 5. 家族と親族 家族のつながりを考える 6. 労働 仕事を見つける。弱い紐帯の強さ。 7. 組織の構造1 学校や組織のヒエラルキーはどうやってできているか。 8. 組織の構造2 組織内で誰が成功するのか。構造のホール。 9. 社会運動 運動はどうやって拡がるのか。 10. 差別と不平等1 二者間関係の差別や不平等を理解する 11. 差別と不平等2 不平等のメカニズムをネットワークでみる 12. メディア インターネットは公共圏をもたらすか 13. 政治 政治行動はどう決まるか 14. 文化と社会変動 文化をネットワークで捉える 15. まとめ 社会現象をネットワークと社会関係から捉えることの意義
成績評価方法	出席と授業参加点40%、期末レポート60%
教科書および参考書	教科書は特に指定しない。参考書・参考文献については、講義の過程においてそのつと示す。
授業時間外学習	簡単な宿題を課すことがある。また期末にレポートを課す。
その他	
更新日付	2017/07/18 15:37